



JA広島総合病院 広報誌 Vol.10

■春号

●発行所

JA広島総合病院

〒738-8503

広島県廿日市市地御前1丁目3-3

TEL 0829-36-3111(代)

http://www.hirobyo.jp



院長に就任して

JA広島総合病院
病院長 角 重信

この度、関口前病院長の定年退職により、後任として病院長を拝命いたしました角 重信(かど しげのぶ)でございます。

当院は、昭和22年の病院創立以来、前病院長を初めとする多数の職員、周辺の医療関係機関、そして何より多くの患者様に支えられて着実に発展して参りました。特に前病院長時代には、新しく完成稼働した西病棟を加え570床と広島県内でも有数の病院に育ちました。その成果として、全ての部署で一定水準以上の医療環境が整っていることを証明する、日本医療機能評価機構よりの認定(一般病院B)を受けることが出来ました。また、4年前に開設された地域医療連携室が中心となり、周辺医療機関が協力して地域に密着した医療が提供できるよう、近隣の病院や医院との連携を密にして参りました。今後も、地域の中核病院としてその役割は益々重要になってくると思われまます。

現在当院は、

①安心な病院…私たちはすべての人に信頼される医療の実現に努めます。

②親切的な病院…私たちは和と思いやりの心を大切にします。

③身近な病院…私たちは地域に密着した医療と健康的な生活の提供に努めます。

④立派な病院…私たちは最新の知識と技術を習得し、良質な医療の提供に努めます。

と言う4項目の基本理念を掲げ、急性期医療を行っています。一方で、地域の皆様の医療・保健・福祉の訪問看護や居宅介護支援事業、また疾病の予防・早期発見のための健康管理活動・人間ドックにも重きをおいています。さらに臨床研修指定病院として医師の教育・育成を行っており、平成16年4

月より始まる新医師臨床研修制度では研修医5名を採用し、当院で研修を行ってもらうこととなりました。また、医学生、看護学生の教育も使命と認識し、多数の学生実習を受け入れていきます。よろしくご理解下さい。

さて現在、患者様の「かかりつけ医」を支援し、地域医療の充実を図ることを目的として、地域医療支援病院の認定をうけるべく準備を行っています。周辺地域の医療機関での医療機能の分担と連携を目指し、施設・設備・器械等の共同利用、地域医療従事者の資質の向上を図るための研修、救急医療の提供が地域医療支援病院の要件です。これらの要件を満たすためにも、周辺医療機関の役割分担の充実が必要となってきました。そこで、当院ご利用の皆様にお願ひですが、皆様には「かかりつけ医」をもっていただきたく思います。病気の時はまず「かかりつけ医」を受診され、専門的な医療が必要と「かかりつけ医」の先生が判断なさった場合は当院にご紹介頂きます。当院にて治療を受けて頂き、軽快されれば、また「かかりつけ医」で加療を、という流れをご理解していただきたく思います。

私たちは、「病院は患者様のために」の原点意識を職員全員が共有し、「安全な医療」、「信頼される医療」の実現を目指し、各職種が患者様を中心としたチーム医療を実践していきたいと思えます。また、高い専門性の修得を目指すとともに、医学・医療の社会的ニーズを認識し、全人的医療の実践に努力いたします。ご理解とご協力よろしくお願ひいたします。

診療科紹介

眼科



医師
柴原 玲子



主任部長
二井 宏紀



当院眼科の診療体制は二井宏紀主任部長と柴原玲子医師の2診体制です。特色としては、白内障、緑内障、糖尿病の患者さんが多く来院され、これらの疾患に重点をおいた診療体制をとっています。中でも緑内障は二井部長の専門分野のため、他院から多くの患者さんが紹介されてきます。

また、最近メディアでとり上げられ注目されている病気のためか、紹介以外の患者さんでも緑内障を心配されて受診される患者さんは少なくありません。ほとんどの患者さんに言えることは、全ての緑内障＝眼痛、頭痛、嘔気＝失明と考えておられる、ということ。緑内障には多くの種類があり、もちろんそういった症状で発症する種類の緑内障（閉塞隅角緑内障）もありますが、多くは眼圧が高くないため末期にならないと自覚症状の出にくい緑内障（正常隅角緑内障）や、眼圧は正常値（10～21mmHg）を超えているが、自覚症状として出ないことも多々ある緑内障（開放隅角緑内障）ですので、こちらは毎年職場などで受けられるであろう検診などで早期発見するしかありません。そのため当院

では、緑内障精査目的の受診であれば当然ですが、飛蚊症など緑内障とはあまり関係のない症状での受診であっても、所見から緑内障が疑われる場合には迷わず視野検査を含めた緑内障の検査を行う方針をとっています。これにより早期発見が可能となります。また、前述した眼痛、頭痛などの症状（これを緑内障発作といいます）を生じうる緑内障も、診察時に発見可能ですので早めにレーザー治療で虹彩（茶目の部分）に穴を開け眼内の水の逃げ道を作ってやることにより発作を予防することができます。

こういった緑内障に対して行う手術も含め、当院で平成15年度に行った手術件数は、白内障355眼、緑内障単独手術30眼、緑内障・白内障同時手術13眼、内反症や外傷などの外眼部・前眼部手術が37眼、計435眼で、白内障手術が多くを占めています。次いで緑内障手術が多く行われています。また、レーザー治療も毎年400眼程度に行っており、糖尿病や網膜静脈閉塞症などに対する網膜光凝固が約190眼、緑内障レーザー治療を約98眼に行っています。

白内障手術は、全例眼内レンズの挿入が可能で、幸い失明にいたる様な眼内炎などの重篤な術後合併症は現在までありません。

当科では、他科の様に予約制をまだ導入する体制が整っておらず患者さんには待ち時間の面で大変ご迷惑をおかけしておりますが、患者さんにベストな診療を、と部長以下スタッフ全力で日々取り組んでおりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



検査室だより 睡眠時無呼吸症について

睡眠時無呼吸症という言葉を皆さんはご存じでしょうか？医学的に無呼吸というのは10秒以上息をしないことをいいます。この疾患は咽頭付近の構造的欠陥が深く関係しているといわれています。もともと空気の通路である気道が細い人や、肥満でのどに脂肪が付いている人、扁桃腺やリンパ腺が腫れている人は無呼吸症になりやすいのです。

この病気の兆候は、いびき、日中の疲れやだるさ、眠気、多汗、寝起きの際の頭痛など様々ですが、どの症状も他の病気と区別がつけにくく、この病気を疑って来院される方のほぼ半数が、配偶者にいびきを指摘された方々です。

無呼吸症が進行すると、安定した睡眠が妨げられるために慢性的な睡眠不足になります。その結果、仕事に集中できなくなる、注意散漫になり交通事故などを起こしやすくなるなど、日常生活に様々な支障を引き起こすのです。さらにこの病気の怖いところは心臓発作や脳卒中など、重い病気にもつながりかねないことです。呼吸が出來ないために肺に空気が入らず、血液中の酸素濃度が低下し、最悪

の場合脳が損傷を受ける可能性もあります。また、止まっていた呼吸が再開されることで急激な血圧変化が起こり、脳卒中を誘発したり、心臓発作につながる可能性があるのです。

このように重症化すると生命の危険もある睡眠時無呼吸症ですが、ほとんどが治療可能です。まず、扁桃腺などが原因の場合は外科手術が第一選択となります。軽症の場合は就寝時にマウスピースを着したり、重症の場合は鼻から空気を送り込んで内側からのどを広げるCPAP（持続性陽圧呼吸装置）を装着することで、無呼吸状態の発生を食い止めることが出来ます。

また、無呼吸症の予防として夜ぐっすり眠るために生活のリズムを整えることも大切です。寝酒は深い睡眠の敵ですので、禁物です。日中の眠気や寝起きの頭痛などを自覚したら、一度受診されることをおすすめします。



ナースのお仕事



手術室看護師として働く喜び

私たち手術室看護師は、患者様が「安全・安楽に麻酔・手術を受けられるよう援助する」という目標をもって看護しています。手術室看護師の役割は器械出し看護師と外回り看護師に分けられます。器械出し看護師は手術の進行に合わせて手術に合った器械や材料を医師に渡します。外回り看護師は、患者様の安全を守り、不安・苦痛が少しでも軽減できるように看護します。私は一日の仕事が終わったときに疲れと一緒に手術室看護師としての喜びを感じます。器械出しの時には「ミス、トラブルなく器械出しができた」という満足感、外回りの時には「患者様を麻酔・手術から守ることができ、安全に終わった」という充実感です。私が手術室看護師の喜びを味わえるようになったのも色々な経験の積み重ねです。当院では年間4400件近い手術が行われており、9部署ある手術室はフル回転の状況で、患者様とゆっくり話す時間もありませんが、一人一人の患者様との短い出会いを大切にしています。最高の手術室看護が提供できるように日々努力しています。私は手術室看護師になれたことほども幸運であったと思います。それはいろいろな科の病棟・外来看護師があり、病院の中で治療の最先端をいく手術室で働ける確率は非常に少ないと思うからです。今後もここでしか味わえない手術室看護の喜びをたくさん経験できるように、患者様に喜んでいただけるような看護をしていきたいです。

M・M

看護師の笑顔で安らぎを

去年の春、看護師としての第一歩を踏み出してからあっという間に一年が過ぎました。最初は看護師一年生として仕事をこなすのが精一杯の毎日でしたが、一年が過ぎ少し余裕が出てきた今、日々感じるものがあります。それは忙しい仕事の中、患者様の話をきちんと聞いてあげられているかということです。どうしても時間に追われる毎日、きちんと患者様と向き合えていないのではないかと感じます。患者様自身も忙しく働いて私達に遠慮されて、不安な気持ちで一人を抱え込んでおられる方もいるのではないのでしょうか。そんな風に考えて毎日仕事をしているとき、ある患者様から「あなたはいつもここにこしていて、話かけやすい。笑っているのを見るだけでほっとする」という一言をいただき、すごく考えさせられました。どんなに忙しくても笑顔をやさしくしていることで、患者様の心を和ませることができるといふことと、患者様から話をしてみようかなという気になったというのだというところがわかりました。それからは、患者様の傍に行って話をじっくり聞く時間を持つようにすることはもちろん、どんなに忙しくても笑顔をやさしくしているように心がけています。

まだまだ看護師として未熟ではありますが、この気持ちだけは忘れずに、患者様から色々と学ばせていただき成長していきたいらと思えます。

K・S

受付時間：午前8時30分から午前11時まで

平成16.4.1現在

各科外来診察予定表

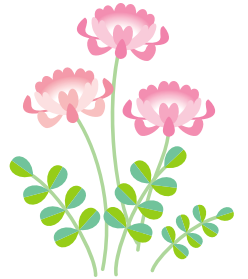


診察科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
第一内科 (呼吸器)	初診	高橋			田中	
	再診			高橋・田中	高橋	田中
	午後診療 1:30~3:30	喘息外来 広大医師				
第一内科 (循環器)	初診	前田	藤井 國田(初再診)	北川	友弘	小林・國田
	再診	藤井・友弘	前田・友弘	小林	前田・小林	藤井・北川
	午後診療 1:00~3:30			関口	関口	関口
第二内科 (腎臓)	初診		串畑 心石(初再診)	心石		平林
	再診	平林		平林	串畑	
	午後診療 1:30~3:30		CAPD外来 平林・串畑・心石			
第二内科 (糖代謝)	初診	石田(和)		木戸	河面	
	再診	河面・木戸	石田(和)・河面 木戸	石田(和)・河面	石田(和)・木戸	石田(和)・河面 木戸
	午後診療 1:30~3:30		河面		石田(和)	
第三内科 (消化器)	初診	小松・浅本	石田(邦)	徳毛	大原	品川
	再診	徳毛	小松・大原	石田(邦)・品川	小松	石田(邦)・浅本
小児科	初再診	中畠・下園	中畠・河村	下園・河村	中畠・下園	中畠・河村
	午後診療 2:00~3:00	慢性疾患 腎・肝炎・喘息等	予防接種 心臓・乳児検診		慢性疾患 腎・肝炎・喘息等	乳児検診 (要予約)
外科	初再診	中光・永田 加藤(1.3.5週) 長谷(2.4週)	角・今村 湯浅	中光・長谷 林	永田・加藤 湯浅	角・今村 林
	初診		川上		清水	中尾
心臓血管外科	再診		川上・中尾		清水	中尾・望月
	初診	藤本・来嶋	大田	金沢	中増	金沢
整形外科 初診10時まで	再診	金沢・大田	来嶋	藤本・大田 中増	金沢・来嶋	中増
	初再診	茂木		茂木		茂木
脳神経外科	初再診	田口	黒木	黒木	湯川	湯川
	再診	湯川	呉島	田口	田口	黒木
呼吸器外科	初再診	渡	渡	渡	手術日	片山
産婦人科	初再診	藤本	内藤	藤本	内藤	前田
	再診	内藤	前田	内藤	藤本	藤本
	再診 10:00~11:00	前田	藤本	前田	前田	内藤
	午後診療 2:00~3:00		予約診療		予約診療	
皮膚科	初再診	古谷・森川 柳瀬	古谷・森川 柳瀬	古谷・森川 柳瀬	古谷・森川 柳瀬	古谷・森川 柳瀬
	午後診療 3:00~4:00				特殊外来	

初診
 再診
 午後診療

整形外科の初診受付が10時までとなりました。ご注意ください。

診察科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
泌尿器科	初診	廣本・稗田	小深田	植木	廣本	小深田・稗田
	再診	植木	廣本・植木	小深田・廣本	稗田・小深田	植木
眼科	初再診	二井・柴原	二井・柴原	二井・柴原	二井・柴原	二井・柴原
耳鼻咽喉科	初診	平田	水野	平田	水野	水野
	再診	水野	平田	水野	平田	平田
	午後診療	月曜 アレルギー (3:30~4:00) 第2・4月曜 補聴器 (1:00~4:00予約制) (医師は交替制)				
歯科	初再診	今田	今田	今田	今田	今田
口腔外科	初再診	原田・武田	原田・武田	原田・武田	原田・武田	原田・武田
	午後	手術日	外来手術日	手術日	外来手術日	一般外来
精神科・心療内科	初診	柳井・山下 (10時~11時迄受付)	山下	柳井	柳井	山下
	再診	柳井・山下 (10時迄)	柳井	山下	山下	柳井
麻酔科	初再診	松本	中尾	東	松本	中尾
	術前診察	白石	松原	白石	松原	東
画像診断部	初再診	藤川	藤川・谷為	藤川・松浦	藤川・鈴木	藤川・谷為
放射線治療科	初再診	桐生・伊東	桐生・伊東	桐生・伊東	桐生・伊東	桐生・伊東



JA広島総合病院基本理念

1. 安心な病院 私たちは、すべての人に信頼される医療の実現に努めます
2. 親切な病院 私たちは、和と思いやりの心を大切にします
3. 身近な病院 私たちは、地域に密着した医療と健康的な生活の提供に努めます
4. 立派な病院 私たちは、最新の知識と技術を習得し良質な医療の提供に努めます

患者さんの権利

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性について説明を受け、十分な納得と同意のうえで適切な医療を受けることができます。
3. あなたは、今受けている医療の内容についてご自分の希望を申し出ることができます。
4. あなたの医療上の個人情報保護されます。
5. あなたに研究途上にある治療をおすすめする場合には、治療の内容や従来の治療方法との違いなどについて、前もって十分な説明をします。

新任Drの紹介



第一内科医師
國田 英司

皆様はじめまして。この4月よりJA広島総合病院循環器内科でお世話になることになりました。広島大学病院で2年間研修を終えたばかりでまだまだ未熟者ですが、一生懸命頑張りますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



第一内科医師
田中 惣之輔

この度、内科(呼吸器)に勤務することになりました。田中惣之輔と申します。平成11年卒です。呼吸器専門医を目指しております。しっかりとがんばっていきたく存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。



第三内科医師
大原 英司

この度、消化器内科に配属されることになりました。2年間広島大学病院でローテーションし研修してきました。若さと体力を武器に一生懸命頑張りますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

第二内科副部長
河面 智之

この度糖尿病代謝内科に配属されました。「こうも」といいます。これまで主に国立系の病院に勤務しており、またので新しい環境にとまどうことも多々あると思いますが、地域の医療に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

小児科副部長
下藪 広行

4月1日から小児科に勤務することになりました。2年前までは同じ厚生連の吉田病院に勤務していました。そのとき野球部に入っており、顔見知りの方が結構いるので初めての場所という感じがしません。よろしく願います。

外科医師
加藤 楽

6年間の聖路加国際病院での研修を終え、今年2月に広大第一外科に入局しました。まだ不慣れな点が多く、ご面倒をかけるかとは思いますが、早く地域の医療に貢献できるようになりたいと思います。宜しく願います。

外科副部長
湯浅 吉夫

この度4月1日より外科に勤務することになりました。最近4年間は心臓血管外科の研修をしておりました。実は私が生を授かったのはこの病院で、ふるさとに帰ってきたということでも心機一転頑張っていきたいと思っています。よろしく願います。

整形外科部長
中増 正寿

平成3年に広島大学整形外科に入局後、5つの病院と大学院を経て当院にやって参りました中増です。臨床は手、研究では骨粗鬆症をやっております。今後よろしく願います。

整形外科医師
來嶋 也寸無

はじめまして。4月より広島総合病院整形外科に勤務となりました。來嶋也寸無(きじまやすむ)と申します。変わった名前ですが覚えにくいとは思いますが、熱く働かせて頂くと思っております。宜しく願います。

脳神経外科医師
呉島 誠

この度、広島総合病院脳神経外科に配属することになりました。昨年までは北九州総合病院で勤務しておりました。医師としてはまだ4年目で皆様には御迷惑をお掛けするかもしれませんが、一生懸命頑張りますので御指導宜しく願います。

脳神経外科臨床研修医
碓井 智

はじめまして。2年目の臨床研修医です。母科は脳神経外科ですが、脳外科以外に消火器外科、循環器内科で研修させて頂きます。僕の好きな言葉は「プラス思考」です。楽しいことやつらいこと、いろいろあると思いますが、全部楽しめるくらい余裕をもてたいなと思います。宜しく願います。

皮膚科部長
森川 博文

4月1日よりJA広島総合病院の皮膚科でお世話になっております。平成5年卒で今年で12年目になります。体型は大きめですがフットワーク軽く仕事をしたいと思っております。よろしく願います。

皮膚科臨床専門研修医
柳瀬 哲至

この度皮膚科に配属されることになりました。一年目は大学病院で皮膚科を、二年目は三次中央病院で内科・外科・小児科・麻酔科をローテーション研修いたしました。早く患者様をはじめ皆様にご貢献できるよう努力いたします。よろしく願います。

泌尿器科医師
稗田 圭介

この度、広島総合病院泌尿器科でお世話になることになりました。まだまだ知識も経験も不足していますが、一生懸命頑張りますのでよろしく願います。

産婦人科主任部長代理
内藤 博之

国立病院呉医療センターから転任してきました。呉病院では、周産期医療から癌まで幅広く15年間やってきました。50歳過ぎでの転勤なので、環境の変化に対応するのが大変ですが、新たな気分で良い産婦人科、良い病院を目指して頑張りますので、みなさん宜しく願います。



耳鼻咽喉科副部長
水野 一志

平成16年4月1日より耳鼻咽喉科に勤務となりました。廿日市の地域医療に少しでも貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願致します。



麻酔科医師
松原 由紀

手術室に閉じこもり太陽を見ない生活が7年目を迎えました。本年4月より麻酔科専門医となり胸を張って仕事をしている毎日です。最近では花粉の飛ばない手術室で花粉症も落ち着き、快適に集中力を増し、より安全な周手術期管理に努めています。



画像診断部副部長
秦 良一郎

はじめまして。この4月より画像診断部に勤務となりました。JA広島総合病院に勤務して驚くのは、画像診断機器の充実です。最新の機器の診断能力を活かし、みなさんの診断に役立つ所見を提供できるよう頑張っていきたいと思えます。よろしくお願致します。



放射線治療科
主任部長代理
桐生 浩司

この4月より放射線治療科に勤務することとなりました。当院の治療装置はすばらしく、IMRTを用いた最先端の治療が行われています。機械に負けないハートを持った医者として頑張ろうと思えます。よろしくお願致します。



口腔外科臨床
専門研修医
武田 恵理

はじめまして。この度、口腔外科で勤務させていただく事になりました。総合病院の中にある歯科として、患者様により安心して治療を受けてもらえるよう、頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願致します。



心臓血管外科医師
望月 慎吾

はじめまして。この度心臓血管外科で働かせて頂くことになりました。医師2年目でまだまだ未熟ですが、川上先生、中尾先生、清水先生のお手伝いをし、少しでも患者様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願致します。



臨床研修医
石田 誠

この春、広島大学を卒業し、当院にて臨床研修医として2年間研修させていただきますことになりました。同期の研修医5人とともに切磋琢磨しつつ、日々成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。



臨床研修医
元田 親章

はじめまして。今春広島大学を卒業しこの度JA広島総合病院で医師としてのスタートを切らせていただくことになりました。自分の目標をしっかりと持ち、毎日一步一步成長できるように一生懸命頑張りますのでよろしくお願致します。



臨床研修医
岩本 和真

今年の4月より2年間、研修医としてお世話になるとことになりました。医師として、また社会人としても1年目で、まだまだ未熟ですが、患者様のお役に立てるよう成長していきたいと思えます。よろしくお願致します。



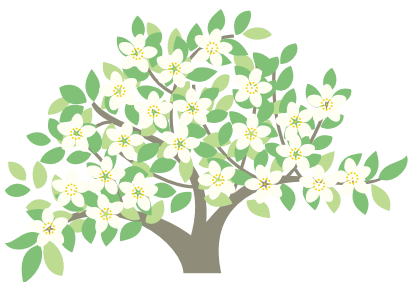
臨床研修医
岡本 珠緒

この度、卒後臨床研修医としてお世話になることになりました。熱い心を持ち、親身に接することのできる医師になりたいと思えます。探求心を持って、多くのものを吸収していきたいと考えております。よろしくお願致します。



臨床研修医
中野 洋司

この度、新臨床研修医制度の1年目としてJA広島総合病院でお世話になることになりました。医師として1年目で足りない点も多くありますが、日々様々なことを吸収し勉強していきたいと思えますので、どうぞよろしくお願致します。



栄養コーナー
No.10

はじめませんか？「減塩生活」

●ほっておくと怖い高血圧

現在日本では成人の3人に1人が高血圧症だといわれています。「血圧が少し高いぐらい…」とほっている方はいませんか？高血圧は長く続くと脳卒中や狭心症、心筋梗塞、腎不全など致命的な病気を引き起こす、実はとても怖い病気なのです。

●食塩をとり過ぎていませんか？

多くの場合、高血圧の原因は半分が遺伝的因子、半分が環境的因子だと考えられています。環境的因子とは生活習慣のことで、食生活でいうと最も関連が深いのは「食塩のとり過ぎ」です。人間が生きていく上で必要な食塩の量は1日わずか1～2gですが、日本人は1日に平均11.4gも摂取しています。高血圧の治療のためには7g以下、予防のためには10g以下に「減塩」する必要があります。

●減塩のポイント

減塩というと、まず一番に思いつくのは「味付けをうすくする」ということではないでしょうか？しかし食品の中には食塩を多く含むものがあり、味付けをうすくするだけでは十分に減塩できているとはいえません。間違いなく「減塩」するためのポイントをいくつかご紹介しましょう。

- ・漬物、佃煮、加工食品（練り製品、缶詰）、干物、塩魚など塩分の多い食品をひかえる
- ・汁物は具たくさんにして汁を少なくする
- ・ラーメンやうどんのスープは飲まない
- ・酢、だし、香辛料を効かせて塩分の多い調味料はひかえめにする



～「おいしく減塩クッキング教室」参加者募集のお知らせ～



栄養科では毎月第4水曜日に「減塩クッキング教室」を開催しています。これをきっかけに減塩生活をスタートさせてみませんか？みなさんの参加をお待ちしております。詳しくは院内掲示板をご覧くださいか、栄養科までお問い合わせ下さい。